

福井県後期高齢者医療広域連合告示第14号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成27年4月1日から平成27年9月30日までの財政状況及び平成26年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

平成27年12月18日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成27年度一般会計（平成27年9月30日現在）

【歳入】 (単位：千円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	454,148	227,090	50.0
2 国庫支出金	191	0	0.0
4 繰越金	1	19,149	1914900.0
5 諸収入	57	0	0.0
合計	454,397	246,239	54.2

【歳出】 (単位：千円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,526	50	3.3
2 総務費	151,345	75,751	50.1
3 民生費	299,525	0	0.0
4 諸支出金	1	0	0.0
5 予備費	2,000	0	0.0
合計	454,397	75,801	16.7

(2) 平成27年度後期高齢者医療特別会計（平成27年9月30日現在）

【歳入】

(単位:千円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	15,835,165	6,401,988	40.4
2 国庫支出金	32,989,141	19,775,533	59.9
3 県支出金	8,209,877	5,823,282	70.9
4 支払基金交付金	40,217,259	15,508,625	38.6
5 特別高額医療費共同事業交付金	18,935	0	0.0
6 財産収入	2,303	571	24.8
8 繰入金	1,247,132	0	0.0
9 繰越金	1	2,956,955	295695500.0
11 諸収入	5	80,743	1614860.0
合計	98,519,818	50,547,697	51.3

【歳出】

(単位:千円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	349,382	121,369	34.7
2 保険給付費	97,846,360	41,337,442	42.2
3 県財政安定化基金拠出金	43,836	0	0.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	23,544	0	0.0
5 保健事業費	215,896	0	0.0
6 基金積立金	2,303	571	24.8
7 公債費	1	0	0.0
8 諸支出金	18,496	8,083	43.7
9 予備費	20,000	0	0.0
合計	98,519,818	41,467,465	42.1

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

①公有財産 平成27年9月30日現在所有なし

②基金 平成27年9月30日現在高

後期高齢者医療制度臨時特例基金 129,619,582円

療養給付費等準備基金 2,602,998,210円

(2) 地方債 平成27年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 平成27年9月30日現在借入なし

3 平成26年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成26年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較 (単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	456,993,099	486,586,515	△29,593,416	△6.1
歳出	437,844,111	460,671,122	△22,827,011	△5.0
差引	19,148,988	25,915,393	△6,766,405	△26.1

(第1表の2) 予算現額との比較 (単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	457,201,000	456,993,099	207,901	100.0
歳出	457,201,000	437,844,111	19,356,889	95.8

平成26年度の決算額は、歳入4億5,699万3,099円、歳出4億3,784万4,111円で、歳入歳出差引額は1,914万8,988円となった。この差引額は、剰余金として平成27年度に繰り越す。

また、予算現額との差引額は、歳入で207,901円、歳出で1,935万6,889円であった。

②歳入の状況

平成26年度の歳入決算額は、4億5,699万3,099円で、前年度決算額と比較して2,959万3,416円、率にして6.1%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億3,103万742円、繰越金が2,591万5,393円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、事務局を運営する費用のため市町に共通経費として負担を求める市町負担金が697万8,396円増額したが前年度繰越金が3,638万4,232円減額したことによるものである。

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	431,030,742	94.3	424,052,346	6,978,396	1.6
2 国庫支出金	0	0.0	188,000	△188,000	△100.0
4 繰越金	25,915,393	5.7	62,299,625	△36,384,232	△58.4
5 諸収入	46,964	0.0	46,544	420	0.9
合 計	456,993,099	100.0	486,586,515	△29,593,416	△6.1

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比較 C-A
1 分担金及び負担金	431,031,000	431,030,742	431,030,742	0	△258
2 国庫支出金	190,000	0	0	0	△190,000
4 繰越金	25,917,000	25,915,393	25,915,393	0	△1,607
5 諸収入	63,000	46,964	46,964	0	△16,036
合 計	457,201,000	456,993,099	456,993,099	0	△207,901

③歳出の状況

平成26年度の歳出決算額は、4億3,784万4,111円で、前年度決算額と比較して2,282万7,011円、率にして5%の減となった。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が69万944円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,561万3,722円、特別会計への繰出金である民生費が2億6,565万2,052円、市町、国等への償還金である諸支出金が2,588万7,393円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、市町、国等への償還金が3,641万2,232円減額したためである。

議会費の執行率が低かった原因は、議会の開催数が少なかったことによるものである。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	690,944	0.2	1,212,575	△521,631	△43.0
2 総務費	145,613,722	33.2	139,877,972	5,735,750	4.1
3 民生費	265,652,052	60.7	257,280,950	8,371,102	3.3
4 諸支出金	25,887,393	5.9	62,299,625	△36,412,232	△58.4
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	437,844,111	100.0	460,671,122	△22,827,011	△5.0

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,519,000	690,944	828,056	45.5
2 総務費	150,439,000	145,613,722	4,825,278	96.8
3 民生費	277,326,000	265,652,052	11,673,948	95.8
4 諸支出金	25,917,000	25,887,393	29,607	99.9
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	457,201,000	437,844,111	19,356,889	95.8

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成26年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	102,711,126,511	100,154,253,867	2,556,872,644	2.6
歳出	99,754,171,641	97,077,193,908	2,676,977,733	2.8
差引	2,956,954,870	3,077,059,959	△120,105,089	△3.9

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	100,556,352,000	102,711,126,511	△2,154,774,511	102.1
歳出	100,556,352,000	99,754,171,641	802,180,359	99.2

平成26年度の決算額は、歳入1,027億1,112万6,511円、歳出997億5,417万1,641円で、歳入歳出差引額は29億5,695万4,870円となった。この差引額は、剰余金として平成27年度に繰り越す。

また、予算現額との差引額は、歳入で△21億5,477万4,511円、歳出で8億218万359円であった。

②歳入の状況

平成26年度の歳入決算の総額は、1,027億1,112万6,511円で、前年度決算額と比較して25億5,687万2,644円、率にして2.6%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が155億8,538万1,669円、国庫支出金が349億8,533万4,481円、県支出金が79億9,333万1,993円、支払基金交付金が397億8,649万3,000円、繰入金が9億8,465万9,100円、繰越金が30億7,705万9,959円となっている。諸収入における収入未済額は217万5,452円で、雑入（医療費差額返納金）において発生している。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、国からの療養給付費負担金及び前年度繰越金が増加したことによるものである。

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	15,585,381,669	15.2	15,630,330,502	△44,948,833	△0.3
2 国庫支出金	34,985,334,481	34.0	33,830,556,326	1,154,778,155	3.4
3 県支出金	7,993,331,993	7.8	8,164,204,156	△170,872,163	△2.1
4 支払基金交付金	39,786,493,000	38.7	39,892,305,000	△105,812,000	△0.3
5 特別高額医療費 共同事業交付金	18,935,573	0.0	20,588,942	△1,653,369	△8.0
6 財産収入	2,278,384	0.0	2,223,294	55,090	2.5
8 繰入金	984,659,100	1.0	1,019,926,427	△35,267,327	△3.5
9 繰越金	3,077,059,959	3.0	1,404,404,852	1,672,655,107	119.1
1 1 諸収入	277,652,352	0.3	189,714,368	87,937,984	46.4
合 計	102,711,126,511	100.0	100,154,253,867	2,556,872,644	2.6

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	15,682,866,000	15,585,381,669	15,585,381,669	0	△97,484,331
2 国庫支出金	32,486,371,000	34,985,334,481	34,985,334,481	0	2,498,963,481
3 県支出金	8,070,622,000	7,993,331,993	7,993,331,993	0	△77,290,007
4 支払基金交付金	39,536,512,000	39,786,493,000	39,786,493,000	0	249,981,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	20,588,000	18,935,573	18,935,573	0	△1,652,427
6 財産収入	2,278,000	2,278,384	2,278,384	0	384
8 繰入金	1,680,049,000	984,659,100	984,659,100	0	△695,389,900
9 繰越金	3,077,061,000	3,077,059,959	3,077,059,959	0	△1,041
1 1 諸収入	5,000	279,827,804	277,652,352	2,175,452	277,647,352
合 計	100,556,352,000	102,713,301,963	102,711,126,511	2,175,452	2,154,774,511

③歳出の状況

平成26年度の歳出決算の総額は、997億5,417万1,641円で、前年度決算額と比較して26億7,697万7,733円、率にして2.8%の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億933万6,652円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が954億8,069万445円、県財政安定化基金への広域連合負担分（負担割合3分の1）である拠出金が4,383万5,077円、市町が実施する健康診査事業への補助金である保健事業費が1億6,604万3,640円、国からの高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金の基金

への積立金及び保険料剰余金を積み立てる療養給付費等準備基金への積立金が7億3,678万9,036円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が29億9,524万4,437円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、国・県・市町等に対する償還金及び基金積立金のうち、後期高齢者医療制度臨時特例基金がその財源となる高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金の交付時期が、軽減実施前年度から実施年度に変更されたため増額したことによるものである。

保健事業費の執行率が低かった原因は、健康診断の受診者が当初の見込みより少なかったためである。

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	309,336,652	0.3	298,711,332	10,625,320	3.6
2 保険給付費	95,480,690,445	95.7	95,027,731,354	452,959,091	0.5
3 県財政安定化 基金拠出金	43,835,077	0.0	87,928,043	△44,092,966	△50.1
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	22,232,354	0.0	18,071,707	4,160,647	23.0
5 保健事業費	166,043,640	0.2	153,950,990	12,092,650	7.9
6 基金積立金	736,789,036	0.8	2,223,294	734,565,742	33039.5
7 公債費	0	0.0	0	0	—
8 諸支出金	2,995,244,437	3.0	1,488,577,188	1,506,667,249	101.2
9 予備費	0	0.0	0	0	—
合計	99,754,171,641	100.0	97,077,193,908	2,676,977,733	2.8

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	322,717,000	309,336,652	13,380,348	95.9
2 保険給付費	96,196,612,000	95,480,690,445	715,921,555	99.3
3 県財政安定化 基金拠出金	43,836,000	43,835,077	923	100.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	22,234,000	22,232,354	1,646	100.0
5 保健事業費	206,512,000	166,043,640	40,468,360	80.4
6 基金積立金	736,790,000	736,789,036	964	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0
8 諸支出金	3,007,650,000	2,995,244,437	12,405,563	99.6
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0
合 計	100,556,352,000	99,754,171,641	802,180,359	99.2